

腰椎の機能解剖に基づいた徒手療法

講師：佐藤 友紀**主催：日本徒手療法学会**

日 時：平成 22 年 5 月 28 日（金） 18:00～20:00

講 師：佐藤 友紀（豊橋創造大学, University of St. Augustine）

（S1,S3 講習会インストラクター）

司 会：増井 健二（大阪回生病院）

講演内容について：

今回の講演では、腰椎の機能解剖から評価・病態を推測し必要な治療をおこなっていく必要性を説明しました。特に、徒手療法の手技が適応でない病態を例に挙げました。徒手療法が適応でない病態をはっきり言えることは、逆にいえば、徒手療法が適応である病態が理解できている証拠です。さらに、姿勢指導における最新の根拠も説明しました。

内容

1. Paris 博士の紹介
2. 腰椎の機能解剖
3. 機能解剖と検査所見の関連（座位姿勢で腰痛があるときに最も予想できる病態）
4. 必要な治療（椎間板変性を改善させる姿勢 - 最新の根拠）
5. 検査手技、治療手技のデモンストレーション

講演風景

時間帯も遅い中、150名を超える方が熱心にご参加くださいました。また若手の理学療法士から、今回の講義を聞いてこれまでの徒手療法についての疑問が解けたという感想も頂きました。今後も機会があれば是非開催したいと思います。

